

第 3 期岩倉市地域福祉計画 令和5年度進捗評価シート

基本目標	2 誰一人取り残さない、寄り添う支援がある地域(まち)づくり
施策	(5) 横断的な福祉サービスの充実

<現状と課題>

- ・福祉サービスについては、3年ごとに定める「介護保険事業計画」や「障がい福祉計画・障がい児福祉計画」において供給基盤等についての見込み量を定め、計画的なサービス量の確保に努めています。
- ・各種の福祉サービスは、ニーズの多様化等により質・量ともに拡充が求められています。一方で少子高齢化、人口減少により福祉に関する担い手が不足することが見込まれており、対策が必要となっています。
- ・さらに、包括的な支援体制の構築に向けては、それぞれの分野別のサービスの充実とあわせ、全世代を対象とした、複数分野の支援を総合的に提供できるサービス等の拡充が求められています。

成果指標	現状値	実績値						目標値	実績値に対する分析	指標数値根拠 担当
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
地域団体と連携をとっている事業所の割合	69.0%	-						100%	第3期地域福祉計画策定に合わせて実施したアンケート指標のため実績なし。次回は計画見直しのR8年度実施予定。	事業所アンケート 福祉課

単位施策:22 新たな福祉サービスの充実促進

・保険・医療・福祉の総合化や多様なサービス提供者や地域組織・団体間のネットワーク化により、福祉サービスが地域で、効果的かつ効率的に供給されるよう、連携強化を図ります。また、高齢者や障がい者等がともに利用できる共生型サービス等が普及するよう事業所への啓発に努める等、分野横断的な対応ができるよう検討を進めます。

事業		取組内容及び成果	課題及び今後の方向性
●市内福祉サービス事業所における共生型サービスの普及啓発	福祉課、長寿介護課、子育て支援課	市内の介護保険サービス事業所1か所を、生活介護事業の基準該当事業所として登録し、障がい者が通所事業所として利用した。 市内では現在のところ共生型サービスを提供している介護事業所はないが、介護保険と障害のサービスの両方の指定を受けている事業所があることを確認した。	障がい者が通所事業所として利用できるように、引き続き基準該当事業所として登録を行う。 また、共生型サービスの普及・啓発に努める。 市内の介護事業所に対し、共生型サービスの提供意向を確認していく。
●その他			

単位施策:23 福祉専門職等の育成支援等

・様々な機会を通じて、福祉の職場や専門職の魅力等を発信するとともに、研修等を通じた福祉人材の育成、確保を図ります。また、少子高齢化や人口減少等、担い手が不足すると考えられる将来的な課題に対応し、多様な担い手を増やすための各種取組を進めます。

成果指標	現状値	実績値	目標値	
------	-----	-----	-----	--

				R3	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	実績値に対する分析		担当
事業者向け福祉人材の質の向上に資する研修実施回数				0 回	6回							3 回	市職員及び岩倉市商工会会員が受講可能な市役所で実施する研修を、市内障がい福祉事業所及び介護保険事業所の受講を可能としたことで目標を達成した。	福祉課
事業										取組内容及び成果			課題及び今後の方向性	
●事業者向けの研修会				福祉課、長寿介護課						アンガーマネジメント研修、チームワーク研修、レジリエンス研修の受講案内をしたところ、4人の参加があった。また顔の見える連携交流会で受講したい研修についてアンケートを実施したところ希望の多かった、複合課題を持つケースへの対応について研修を行い、36人が参加した。 介護支援専門員研修を2回実施し、39人の参加があった。介護支援専門員の質の向上を図るとともに、主任介護支援専門員の確保に繋がった。			引き続き、市が実施する研修で市内事業者が受講可能なものを周知していく。 介護支援専門員以外の職種について、研修実施の検討をしていく。	
●介護人材育成のための情報提供等				福祉課、長寿介護課						国や県等からの介護人材育成に係る通知について、市内サービス事業所へ周知した。			情報収集と情報提供に努めている。	
●その他														
事務局評価		取組 3	指標 I	評価 C	評価理由				市役所で実施する研修を事業所が受講可能とすることで成果指標の目標値を達成した。横断的な福祉サービスの充実のため情報収集と市内事業所への情報提供を行っている。					
推進委員評価		C			推進委員評価 判断理由・コメント				事業者向け福祉人材の質の向上に資する研修実施回数は目標を達成している。今後は共生型サービスの普及についても取組に力を入れて進めてもらいたい。					